

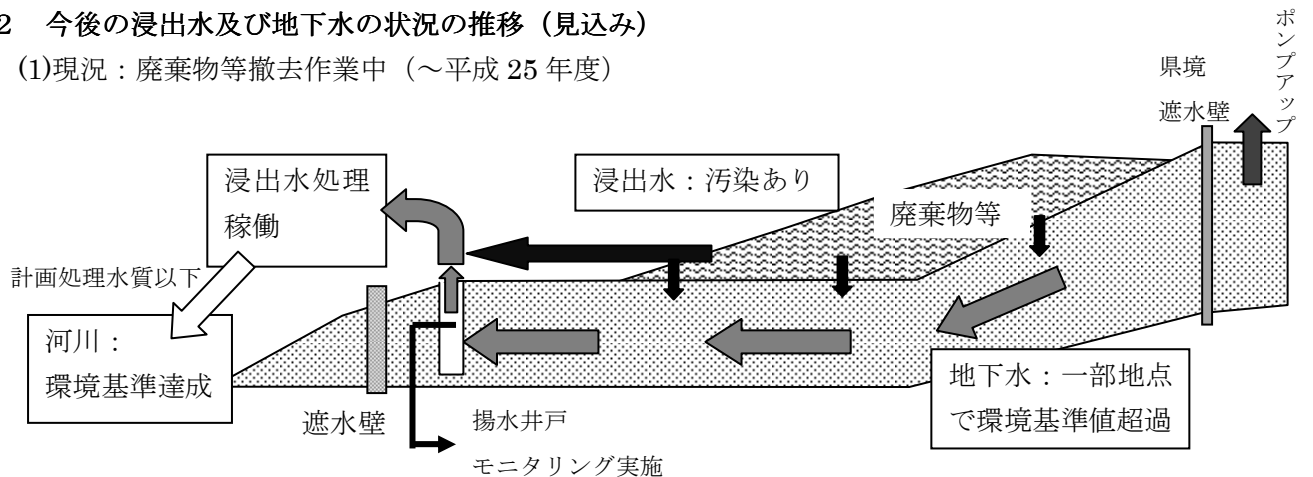
## 原状回復対策事業完了に向けた検討課題

### 1 趣旨

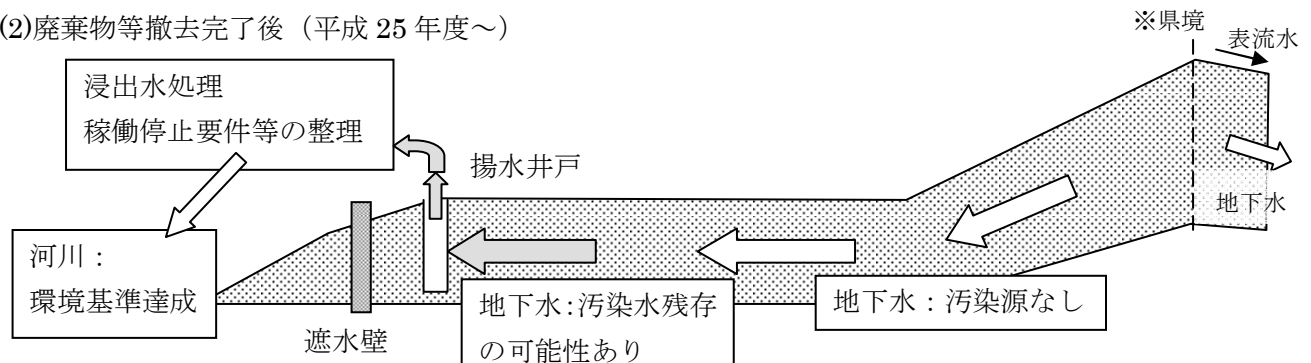
廃棄物等の撤去完了に伴い、廃棄物や汚染土壌からの浸出水はなくなり、浸出水処理施設には地下水のみが流入することとなるため、今年度から実施する現場内地下水（揚水井戸）の水質のモニタリング状況等を踏まえ、県境部を頂点とした表流水・地下水の管理など、原状回復対策事業の完了に向けての検討課題を整理する必要がある。

### 2 今後の浸出水及び地下水の状況の推移（見込み）

(1) 現況：廃棄物等撤去作業中（～平成 25 年度）



(2) 廃棄物等撤去完了後（平成 25 年度～）



※ 特定産業廃棄物等の除去完了後、表流水及び地下水がともに東側に流下するよう、県境（南北方向）を頂点として東側に次第に低くなるよう地形整形や地盤改良など必要な措置を講ずる。（岩手県実施計画より）

### 3 今後の検討課題

- (1) 県境部を頂点とした表流水・地下水の管理
- (2) 浸出水処理施設稼働停止要件となる水質と確認方法（判断基準等）
- (3) 浸出水処理施設稼働停止後の周辺環境モニタリング
- (4) 鉛直遮水壁の取扱い

#### 検討スケジュール

検討課題	H23	H24	H25 以降
(1) 県境部を頂点とした表流水・地下水の管理	→		
(2) 浸出水処理施設稼働停止要件となる水質と確認方法	→	→	
(3) 浸出水処理施設稼働停止後の周辺環境モニタリング	→	→	→
(4) 鉛直遮水壁の取扱い	→	→	→